

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ND3プロジェクト	階数	地上5F,塔屋1F
建設地	大阪府茨木市	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	398 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2014年12月12日
敷地面積	29,053 m ²	作成者	株式会社大林組 岩下博美
建築面積	4,514 m ²	確認日	2014年12月12日
延床面積	15,224 m ²	確認者	株式会社大林組 岩下博美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 96%
③上記+②以外の 96%
④上記+ 96%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4.1
Q1 室内環境: 3.6
Q3 室外環境(敷地内): 3.4
LR1 エネルギー: 3.8
LR2 資源・マテリアル: 3.6
LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 茨木市彩都の雄大な自然に呼応する、ランダム性を取り入れた外装計画とすることで圧迫感を無くし、周辺環境へ配慮している。セキュリティグレードは非常に高く、外壁開口は居室の最高を十分に確保しながら最小限とした。建物の断熱性、防水性、遮音性等を十分に備え、またメンテナンスに配慮し、耐久性や防汚性のある材料を採用した。		その他 ・建設工事における廃棄物削減・リサイクルに努める。
Q1 室内環境 ・南面に開口をとり、室内に十分な採光を確保しながらも開口面積を抑えることで熱環境、空調効率などに配慮した。 ・Low-E複層ガラスを採用し、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 ・中央監視室の配置を検討し、管理の容易な動線計画とした。 ・漏水などが発生しないように必要な箇所に十分な防水性能を施した。	Q3 室外環境(敷地内) ・緑化計画においては条例の設置基準を大きく上回って緑化した。 ・既存の法面形体・緑化を保存し、接道面・周辺環境へ配慮した。
LR1 エネルギー ・高効率機器を採用しているほか、コンピュータ棟では外気冷房やフリークーリング等の環境配慮型技術の導入により、エネルギー消費量の低減に努めている。 ・各機器の消費電力量は、中央監視室にて監視可能なシステムとなっている。	LR2 資源・マテリアル ・再生砕石などリサイクル材料を採用した。 ・メンテナンスに配慮し、耐久性や防汚性のある材料を使用した。	LR3 敷地外環境 ・敷地周辺の自然環境に呼応する外装計画とし、建物は接道からの離隔を十分にとることで、周辺への圧迫感を軽減する配置計画とした。 ・既存の法面形体・緑化を保存し、接道面・周辺環境へ配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	ND3プロジェクト		
	建設地	大阪府茨木市		
	用途/区分	事務所 工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			3
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】

省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価 <small>建物全体 住戸・宿泊</small>	4.0	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.4	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				